



前特だより

前橋市立
前橋特別支援学校
第9号
2016. 12. 12

12月

楽しかった 小学部「あそびの指導週間」 ～桃木小学校4年生も来校してくれました～

「遊びの指導」は、遊びを学習の中心に据えて、身体活動を活発にし、仲間との関わりを促し、意欲的な活動を育くむことをねらいとしています。特別支援学校の小学部を中心に、領域・教科を合わせた指導の形態として教育課程に位置づけて行われます。今年の5月には、本校の中庭に作られた「どろんこランド」で思い切り遊びましたが、今回は、体育館に作られた「あそびのくに」で、11月7日から5日間、楽しく活動しました。トンネル迷路(夏休み中に小学部職員が制作)、滑り台、ボールプール、タイヤブランコ、エアトランポリン、サイバーホイール、シャボン玉遊び等、児童の冒険心や創造力を掻き立てる遊びが沢山用意されました。10日には、桃木小学校4年生全員を招いて遊び交流も行いました。本校の児童と一緒に、お互いに協力しながら楽しい時間を過ごすことができました。期間中は、高崎健康福祉大学、群馬大学、群馬医療福祉大学から多くの学生さんがサポートに入ってくれました。



- ▲夏休み中に小学部職員が制作したトンネル迷路。長いトンネルが子どもたちには好評でした。
- ◀今年度、新しく購入したエアトランポリン。一昨年度は、サイバーホイールを購入しました。



頑張った 中学部「校内作業実習・就業体験」 ～作業実習は2週間にわたり実施されました～

今年度2回目となる中学部の校内作業実習が、11月7日から行われました。今回は、前回(1学期に実施)よりも長く、2週間にわたり実施されました。作業実習は、作業活動を学習活動の中心にして総合的に学習するもので、生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立をめざし、生活する力を高めることを意図するものです。生徒は自分の目標を持ち、集中してそれぞれの作業に取り組むことができました。ホチキス班では、針の箱詰め作業を無言で真剣に行う姿が見られました。また、陶芸班では、力を込めて粘土を練り、丁寧に成形する場面が見られました。エコ班、手芸班、木工班でも、熱心に作業に取り組み、成長した生徒の様子を見ることができ、大変嬉しく思いました。また、この期間を利用して、市内の障害福祉サービス事業所で5日間の就業体験を行った生徒もいます。学校を離れ、慣れない環境の中で過ごすことは大変なことも多かったと思いますが、欠席をすることもなく最後までよく頑張りました。

実習後の21日には「ごくろうさま会」を開き、みんなで労をねぎらい合いました。

▲真剣に作業に取り組むホチキス班の生徒たちの様子。

▶粘土をこね、成形している生徒たちの様子。制作作品は、市合同作品展で販売します。



みんなで勉強した 第2回 学校保健委員会

11月11日、本校会議室において第2回学校保健委員会が開催されました。講師に、群馬県立小児医療センター歯科・障害児歯科の木下樹先生をお迎えし、前半は「障害のある児童生徒の歯と口の健康管理」(保護者対象)、後半は「障害をもつ児童生徒達の学校での口腔衛生支援」(教職員対象)と題して講話をしていただきました。様々な事例紹介を交えながら、専門的な立場から詳しいお話をいただきました。他の病気と違い「歯科疾患のほとんどは予防が可能」という最後の言葉が印象に残りました。 群馬県小児医療センター▶



居住地校交流の実施 今年度7回目となりました

居住地校交流は、特別支援学校に通っている児童生徒が、居住地の小学校・中学校において一緒に学習したり行事に参加したりして交流を深め、家庭のある地域で生涯にわたって地域住民の一員として、豊かな生活を送ることができるようにしていくことを目的に行われるものです。本校のように学校区が前橋市全域と広範囲に及ぶ場合には、特に大切な交流活動であると考えます。また、短期間ではなく継続的に行うことも必要であると感じています。

本校の居住地校交流は歴史が浅く、2年前に始まったばかりですが、次第に回数が増え、今年度は既に7回目(7名が実施)になりました。事前の相手校との調整

に時間がかかることもありますが、実際行ってみると大変有意義な交流活動であることを実感します。また、回数を重ねるごとに活動内容も充実します。

障害のある者と障害のない者とが可能な限り共に学ぶ仕組み(インクルーシブ教育システム)を構築することが現在強く求められています。居住地校交流は、

こうした共生社会の実現に向けた取組の一つの方法として、これからも重視していきたいと思っております。保護者の皆様の、ご理解とご協力をお願いいたします。



- ▲本校訪問学級生と鎌倉中生との交流。今回で2回目。
- ▲本校4G児童と天川小児童との交流。
- ▲本校BG生徒と桂萱中生との交流。(左)



▲馬の世話をしている様子を見学しました。

PTA進路対策委員行事「施設見学」実施

11月21日にPTA施設見学が実施され、富士見町石井にある就労継続支援A型事業所「レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場」を訪問しました。本校の卒業生も働いていました。保護者の参加は10名のみでしたが、その分ゆっくりと馬やポニーの世話をしている様子を見学することができました。動物の世話は大変な作業ですが、動物好きな人にとっては、やりがいを感じることでできる仕事だと思いました。

昨年度は、西大室町の就労継続支援B型事業所を見学しましたが、様々な事業所を見学することは、児童生徒の将来の進路選択を考える上での大切な機会になると思います。

進路対策委員の皆様には大変お世話になりました。

PTA厚生委員行事「小物作り教室」開催

11月22日に、本校会議室においてPTA厚生委員による小物作り教室が開催されました。今回は外部講師を召喚せず、保護者有志を指導者として、「UVレジンアクセサリー・キーホルダー作り体験」を行いました。UVレジンとは紫外線(UV)に当たることによって硬化する「紫外線硬化型」の透明樹脂のことです。12名の保護者の参加がありましたが、終始和やかな雰囲気の中で行われ、時間がたつのを忘れてしまうほど熱心に制作に取り組んでいました。安価な費用で、比較的簡単に制作することができ、初めて体験した参加者には大変好評でした。保護者間の親睦を深める良い機会にもなりました。

厚生委員の皆様には大変お世話になりました。



▲制作の様子とUVレジン作品。▶



お知らせ

※個人情報保護のため関係者配布用資料のみの掲載とします。

